

蜂須賀茂韶 はちすが 茂韶 舊徳島藩主、俳人。弘化二年八月八日江戸（徳島藩邸）生れ、大正七年二月十日歿（八四—九八）。幼名千代丸、氏太郎。號雙樹庵歌立、双樹園、徳風、誠堂。慶應四年襲封。維新後議定、徳島藩知事。廢藩置縣議（達識）を稱せられた。明治五年イギリスへ留學、歸朝後外務省御用掛、大藏省關稅司長、參事院議員。十五年駐ラシンズ特命全權公使。二十一年元老院議員、のち東京府知事、貴族院議長、文相歴任。二十二年日本歴史地理學會會長。俳諧の他和歌、詩書を能くした。

〔二回忌記念誌「寒月集」〕（大正九年八月）二十三日綾部茂雄刊、露木龜太郎著 蜂須賀茂韶公 隠れたる功績 内題「蜂須賀茂韶公の隠れたる功績」 昭和十一年十月十日私家版）刊。